

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

当事者A	年齢[36]歳、勤続年数[18]年、現場経験年数[18]年、階級[消防副士長]、同様の活動[1年に数度]、任務[隊員]
当事者B	年齢[35]歳、勤続年数[17]年、現場経験年数[17]年、階級[消防副士長]、同様の活動[1年に数度]、任務[隊員]
当事者C	年齢[23]歳、勤続年数[1]年、現場経験年数[1]年、階級[消防士]、同様の活動[初めて]、任務[隊員]
その他 (当事者が4人以上の場合)	当事者D 46歳 勤続28年 現場経験28年 消防士長 1年に数度 隊長

11. 事例発生の経過。



	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	D 活動隊 隊長	出火建物軒裏部分の開口部設定を指示。	
経過2	A 破壊行為者	軒裏部分の破壊を開始した。	
経過3	A 破壊行為者	飾り屋根が落下した。	
経過4	B はしご確保員	不測の事態と判断しはしごを更に確保した	
経過5	D 活動隊 隊長	大声で「さがれ」と叫び地上隊員に指示した	
経過6	C 地上活動隊員	落下してきた軒に接触しそうになった	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

他隊(員)との連携活動がうまくいった。たまたま、負傷事故にならなかった。

心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c . 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d . 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

装備・資機材について

e . 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

活動環境について

f . 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g . 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h . 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

指揮・管理について

i . 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

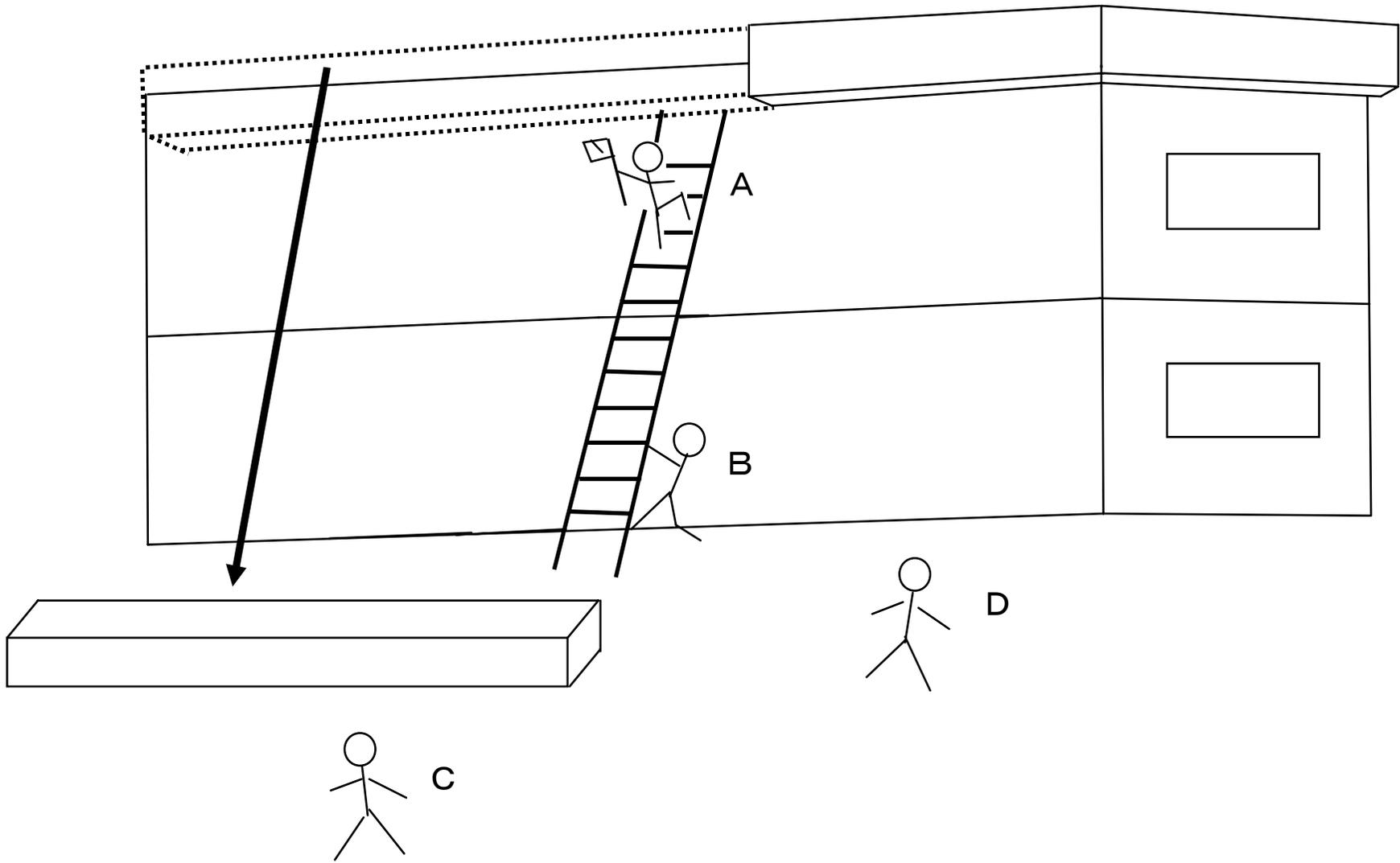
k . 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

その他

l . その他の理由があった。

はい：軒部分のみが落下するとは思ってもよらなかった



○ヒヤリハット事例:消火活動時に、飾り屋根が落下し三連はしご上の隊員及び地上の隊員が負傷しそうになった
 (同様の体験は、初めて体験した。)

(07H0089)

・発生日時 :平成10年12月7日 午前1時頃

経過	現場の状況	隊員A	隊員B	隊員C	隊員D	備考
		隊員／消防副士長 ・年齢 36 歳 ・勤続 18 年 ・現場 18 年 ・同様の活動:1年に数度	隊員／消防副士長 ・年齢 35 歳 ・勤続 17 年 ・現場 17 年 ・同様の活動:1年に数度	隊員／消防士 ・年齢 23 歳 ・勤続 1 年 ・現場 1 年 ・同様の活動:初めて	隊長／消防士長 ・年齢 46 歳 ・勤続 28 年 ・現場 28 年 ・同様の活動:1年に数度	
	防火造2階建て火災、現場活動中期 破壊していた部分が、実は木枠にパネルを張り付けた箱状の飾り屋根であった。また、建物への固定方法も強度不足であった。 飾り屋根が幅約12mにわたり建物から離れ落下した。 飾り屋根が頭部に接触した。 隊員Aに接触した屋根が地上に落下した。					出火建物軒裏部分の開口部設定を指示。 小屋裏部分を消火するため。 飾り屋根部分を小屋裏に通じる軒下と思い込んで破壊していた。
						不測の事態と判断しはしごを更に確保した。 大声で「さがれ」と叫び地上隊員に指示した。 落下してきた軒に接触しそうになった。

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？
 ○直接的な原因:行動の意志決定に問題があった。
 ・他隊(員)との連携活動がうまくいった。
 ・たまたま、負傷事故にならなかった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因
 (その他)
 ・軒部分のみが落下するとは思ってもよらなかった。